

# 健康への

## メッセージ

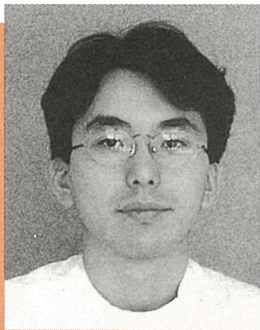
シリーズ⑦⑥

### ひとりごと

光町の皆さん、こんにちは。久しぶりに出てきました。今回は私が普段考えている極めて個人的な見解を述べたいと思います。最後までお付き合いいただければ幸いです。

病院は患者さんを看護し、治療する所です。でも、治す所ではないと思っています。なぜって、医師が治せる病気なんてほんの一握りしかないからです。癌もかぜも治せません。癌は早期で発見すれば治りますが、これはなかなか難しい。かぜは症状を抑えるだけで、体の免疫がウィルスを排除して治る、つまり医師でなく患者自身が治すのです。

では患者を治せない医師が病院で何をすべきなのでしょう？ 私は、病院は患者さんが治ろうと努力するのを手伝い、治らないなら苦しみを和らげる所と考えます。自分が治したなどは口が裂けても言えません。良くなる時はどう治療しても大概治り、そうでないときは逆です。要するに患者さんは勝手に治るといいうのが持論です。運良く患者さんが治れば、ほっとするだけです。治ってくれてありがとうと思います。小心中で臆病な顔を隠して少し虚勢を張って仕事をしています。



東陽病院 宇野 史洋 内科医師

たくさんのお患者さんを取りました。その度に思うのは、医療の無力さです。助けられる患者さんはほんの少しです。でも、聞き直して最近こう思います。

苦しんで生きながらえるより、自然であって良いと。治る可能性があれば説得してでも治療しますが、そうでなければ辛い検査や治療は不要と思います。患者さん本人は大切ですが、残されるご家族も大切です。ご家族が悔いなく介護できたと思えることが重要です。そのための時間を得るためには努力します。告知に私は消極的です。ご家族を無視して告知する大病院のやり方に懐疑的です。ご家族の討議があるべきと思います。父は一昨年膵癌で他界しましたが告知できませんでした。でも、知っていたと思います。患者さんは自身の病態とご家族の気持ちと判ってしまいうような気がします。辛さを和らげるために薬剤を用いて、仮に死期が早まってもやむなしと考えます。でも安楽死を推進する度胸はありません。そんなことを考えながら仕事しています。

4月に転勤で当院を去ることになりました。7年間いろいろな本当にお世話になりました。私の他、整形外科栗飯原、高森、外科松本の各医師が異動します。いろんな医師がいていろんな治療があります。新しく来る医師にご期待ください。

※東陽病院の休日当番日

3月26日(日) 午前9時～午後5時

医師2名が待機・来院の際は電話をしてください。

☎13335



## 春の映画会

### 鉄道員(ぼっぼや)

期 日 3月26日(日)  
 上映時間 1回目 午前10時30分  
 2回目 午後2時  
 定 員 各100名  
 入 場 整理券(無料)を3月11日(土)から図書館カウンターで配布します。

北の果ての小さな駅を守る鉄道員の愛と奇蹟の物語。130万部を超える大ベストセラー小説にもなった「鉄道員」が映画化されました。



ほんの

＝町立図書館＝  
☎⑧3311

### 3月の休館日

6日(月) 13日(月)  
 20日(月) 21日(火)  
 27日(月) 31日(金)